

- ★ 認知症対応力向上研修の推進
- ★ 多職種連携の推進
- ★ 認知症ケアパスの実効化

## 【認知症対応力向上研修の推進】

- ☞ 口腔機能の管理による認知症の疑いがある人への早期発見・早期対応、認知症の人やその家族への理解、地域での多職種による「顔の見える関係」の構築を目指し、研修を推進している。
- ☞ 令和4年度より研修教材が改訂され、かかりつけ医や薬剤師の研修教材と共通のカリキュラムが盛り込まれた他、本人の視点を重視したアプローチや意思決定支援、多職種連携などが追加された。
- ☞ 一方、ベーシックコースとアドバンスコースの設置や、歯科衛生士等のスタッフへの対象拡大などの課題は解決されておらず、人材育成のための研修の拡充が望まれる。

## 【認知症ケアパスの実効化】

- ☞ 認知症対策を進める上では市町村との連携が必須であることは論を待たない。
- ☞ 早期発見等に寄与する歯科の位置付けが「認知症ケアパス」に記載されていないところが多いことを踏まえ、点検・作成及び認知症情報連携シートの活用推進の際には、歯科との連携が盛り込まれることが望まれる。

## 【多職種連携の推進】

- ☞ 認知症の人を取り巻く専門職を含めた関係多職種の協力なくしては、認知症の人の生活も、口腔管理も成しえないことは言うまでもない。
- ☞ 地域において認知症のある人やその家族を支援するとともに、認知症予防及び対策を進めていく上では、かかりつけ医をはじめ認知症疾患医療センターや地域包括支援センター、認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員など、行政を含めた関係職種による地域連携体制の構築が求められる。
- ☞ しかしながら、認知症の疑いがある、あるいは認知症の人を医療・介護サービスに円滑につなぐ仕組みが構築されていない状況が続いている。多職種連携をさらに推進し、歯科を交えた早期の連携体制の構築が望まれる。

---

口腔機能の維持・向上や食支援等を通じて、認知症の人の生活を支援する歯科の立場として、

▽歯科治療への不安に対応した環境整備

▽治療内容の理解を促進するための説明

▽歯科治療中の不安を予測した治療上の配慮

▽治療中の観察とストレスの軽減を図る対応

などを引き続き推進し、認知症の人及びその家族がいつでも安心して歯科受診できるよう取り組んでいく。